

石川県との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、石川県の地域課題の解決および地域の活性化を図るため、石川県（知事：山野 之義）と『包括連携協定』を7月6日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパンは1888年に日本初の火災保険会社として創業し、創業期には実際の火災現場に駆け付ける「火消し」として地域を守ってきた歴史があります。その「火消しの精神」を原点として、135年以上にわたり、社会の安心・安全を守り抜いてきました。現在は、「火消しの精神」を「HIKESHI DNA」と再定義し、社会課題の解決に貢献する「HIKESHI DNA 2030 Project」を全社で展開しています。

このような背景のもと、損保ジャパンが長年培ってきたリスクマネジメントや防災・減災のノウハウ、SOMPOグループの幅広いネットワークや専門的な知見を生かし、石川県の防災力強化、地域活性化および県民サービスの向上に寄与すべく、石川県と協議を進め、このたびの協定締結に至ったものです。

2. 目的

損保ジャパンと石川県は、緊密な相互連携・協力関係をより一層強化し、幅広い分野において包括的な連携を推進することにより、地域課題の解決および地域の活性化を図り、持続可能な地域社会の発展に寄与することを目的とします。

3. 主な内容

以下の項目において業務連携を行います。

- （1）安全・安心・健康なまちづくりに関すること
- （2）地域の人材育成・確保に関すること
- （3）観光誘客の促進に関すること
- （4）その他両者が協議し合意した事項

4. 今後について

損保ジャパンは、今回の協定締結を契機として、石川県内の多様なステークホルダーや代理店とともに、石川県の復興支援および地域課題の解決を通して、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

【協定式の様子】



HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である“火消しの精神”を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

以上